

損害補償業務特記仕様書

令和6年4月1日
みどり環境局公園緑地維持課

この特記仕様書は、第三者の土地及び家屋等の損害（以下「工事損害」という。）が生じる可能性があるであると判断した工事に適用するものとし、詳細については、別途「損害補償業務標準フロー」を参照するものとする。

1 工事説明会

請負人は、工事説明会に出席し、一般的な工事説明のほか、工事損害に関する事項等について説明すること。

2 家屋等の事前調査

請負人は、対象家屋、調査内容について監督員と協議を行い、設計仕様に基づき、家屋等の事前調査を実施すること。

調査を実施した場合は、家屋等事前調査報告書〔第1号様式〕を作成し監督員に提出すること。

3 損害調査の申出及び損害状況報告

請負人は、土地及び家屋等の所有者等から工事損害に係る申出があった場合は、ただちに監督員に報告し、工事損害調査申出書〔第2号様式〕の受領後、速やかに損害状況を確認し、損害状況報告書〔第3号様式〕を作成し監督員に提出すること。

4 応急措置と費用負担

請負人は、工事損害に起因して、土地及び家屋等の所有者等の日常生活に重大な支障をきたす恐れのあるとき、または、損害の急速な拡大が予測されるとき、もしくは軽微な補修が必要なときには、監督員の指示を受け（指示を受ける間がないときは、事後に承諾を得る）、所有者等の了解のもとに応急的措置を行うことができるものとし、応急措置の後、速やかに監督員に報告すること。応急措置の費用は、原則として請負人が負担すること。

5 家屋等の事後調査及び損傷箇所確認

請負人は、家屋等の所有者から工事損害の申出があった家屋等の事後調査を実施するとともに、所有者等の立会いのもと工事損害と認められる損傷箇所の確認を行い、家屋等事後調査報告書〔第4号様式〕及び工事損傷箇所確認書〔第5号様式〕を作成し、監督員に提出すること。

6 施工状況の報告

請負人は、監督員が作成する工事損害調査表〔第6号様式〕の作成に必要な損害原因に関する施工状況の報告を行うとともに、監督員の求めに応じて説明資料を作成し提出すること。

7 復旧工事施工計画書

請負人は、工事損傷箇所確認書に基づき復旧工事費用の見積りを行うとともに、復旧工事施工計画書〔第7号様式〕を作成し、監督員に提出すること。

8 補償交渉と補償に係る合意形成

請負人は、補償内容について監督員の認定を受けた後に、監督員が承諾した復旧工事施工計画書を基に主体となって所有者等との補償交渉にのぞみ、合意形成にいたるまで誠意をもって交渉にあたるものとし、必要に応じて監督員の同席を求めることができる。

なお、損害額に関する承諾書〔第8号様式〕、または、復旧工事施工承諾書〔第9号様式〕を監督員に提出することをもって、補償に係る合意形成とみなすこととする。

9 費用負担

横浜市と請負人の費用負担割合については、工事損害調査表〔第6号様式〕等を基に横浜市と請負人で協議し、請負人は協議結果について協議結果書〔第10号様式〕を作成し、監督員に提出すること。

10 工事損害に対する補償費負担等に関する確認書

請負人は、工事損害に対する横浜市との補償費用の負担割合に関して、補償費負担割合等に関する確認書〔第11号様式〕を締結すること。

11 補償の実施

請負人が、土地及び家屋等の所有者等に対する補償を実施する場合は、原則として全額を金銭で補償するものとし、これによらない場合は、横浜市の承諾を得るものとする。

また、請負人は、土地及び家屋等の所有者等から復旧工事施工承諾書の提出があったときは、復旧工事を行うことができるものとし、復旧工事の後、速やかに復旧工事完了確認書〔第12号様式〕を監督員に提出すること。

12 補償の完了及び請求

請負人は、損害補償を完了した場合には、損害補償実施届〔第13号様式〕を作成し、請求書等の必要な書類を添えて監督員に提出すること。

13 その他の工事が継続する場合

請負人は、工事損害の発生後に引き続きその他の工事が継続する場合で、所有者等からの要望により全ての工事が完了してから復旧工事の見積りや補償交渉を行う場合には、補償業務の手続きについて、監督員と協議して定めるものとする。

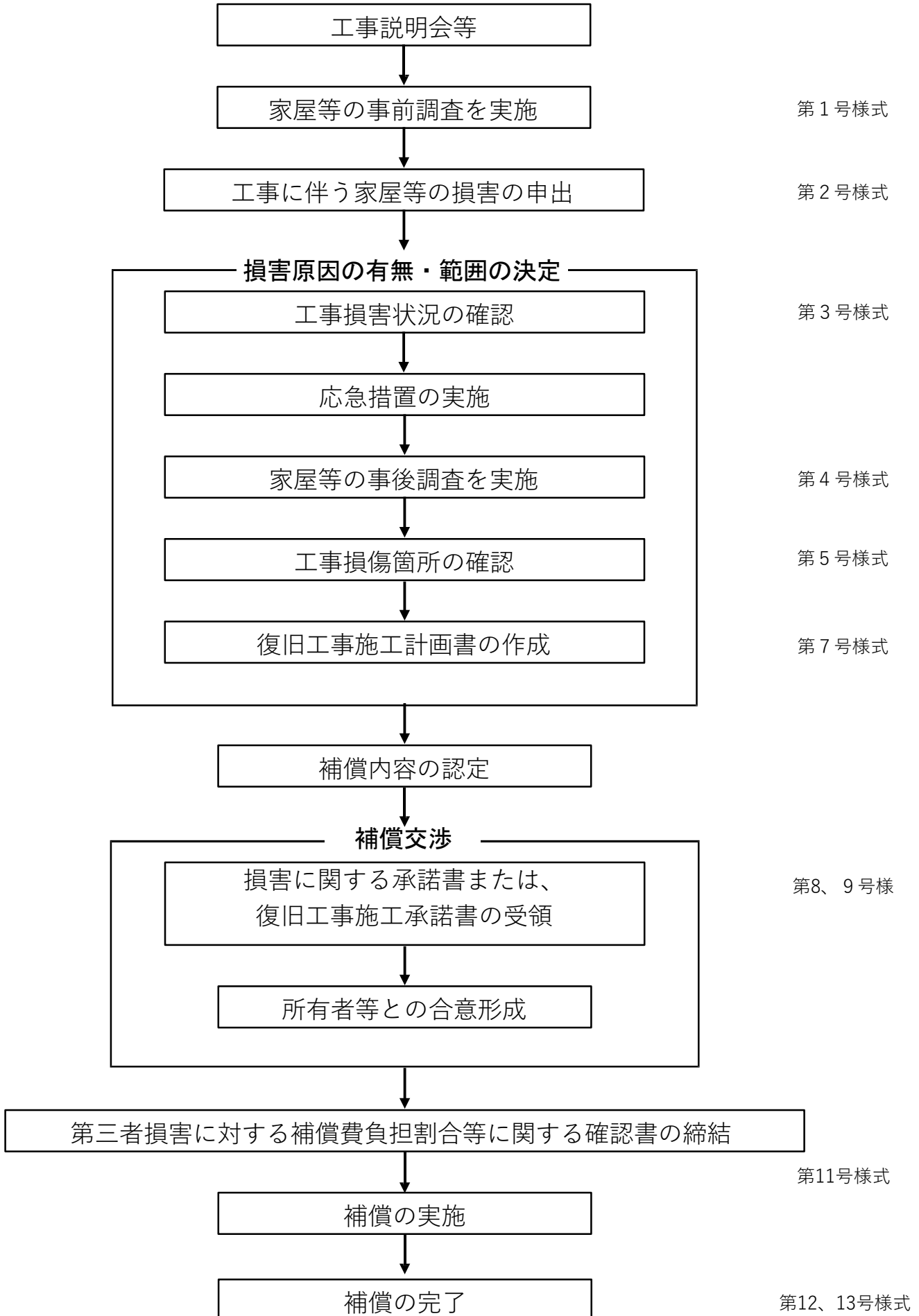
14 個人情報の取扱

この仕様に基づき個人情報を取扱う場合は、横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく「個人情報取扱特記事項」を遵守すること。

15 その他

この特記仕様書に記載のない事項、また、疑義が生じた場合は、監督員と協議して定めるものとする。

損害補償業務標準フロー



令和 年 月 日

(担当課)

請負人（社名）
現場代理人氏名

家屋等事前調査報告書

1. 工 事 名
2. 工 事 場 所
3. 工事施工予定期間
4. 添 付 資 料

(1) 家屋事前調査一覧表

(2) 案 内 図

(3) 家 屋 一 覧 図

(4) 家屋現況調査平面図

(5) 写 真 説 明 表

(6) 家屋現況写真

請負人（社名） _____
現場代理人氏名 _____

工事損害調査申出書

私所有の下記物件について、横浜市発注の工事に起因する損害が発生していますので調査願います。

1 工事名

2 物件所在地

3 対象物件

令和 年 月 日

所有者(居住者)住所

氏名又は名称

印

令和 年 月 日

(担当課)

請負人（社名）

現場代理人氏名

工事損害状況報告書

この損害は、当社施工の次の工事と因果関係を有しているものと判断しますので、貴市においてもその旨認定されるようお願いいたします。

工事名		発生日時	令和 年 月 日
損害物件名 及び構造概要	(建築年数 年)		
所在地		事前調査番号	
損害者名	(所有者)	(居住者)	
住所	TEL ()	TEL ()	
損害状況 ※工事着工後発生した損害はもちろん着工前に損傷が拡大したものと併せて記載すること。			
応急措置			
原因等所見 ※他の工事、交通振動、自然沈下等、他の原因によるものがなかったか必ず記載すること。			
備考 ※担当監督員の意見等を記載すること。			

<添付資料>案内図、損害家屋一覧図、損害状況写真、その他地盤測量報告書、井戸等水位測定報告書等)

令和 年 月 日

(担当課)

請負人（社名）
現場代理人氏名

家屋等事後調査報告書

1. 工 事 名
2. 工 事 場 所
3. 工事施工予定期間
4. 添 付 資 料

(1) 家屋事後調査一覧表

(2) 案 内 図

(3) 家 屋 一 覧 図

(4) 家屋現況調査平面図

(5) 写 真 説 明 表

(6) 家 屋 現 況 写 真 (事前事後対比)

工事損害調査表

工事名 _____ 施工業者名 _____

監督部署 _____

1 工事損害の状況（第3号様式等により被害の状況を簡潔に記入）

2 工事損害の原因

3 施工状況

①設計上、該当すると考えられる工種

②施工状況

（契約図書、施工計画書、指示書に定めた施工方法で行ったか等）

4 設計仕様との関連（任意・指定の区分等）

5 学識経験者及び専門技術を有する者等の意見がある場合の要旨

6 家屋等の事前・事後調査の状況

（調査の有無と状況について記載）

7 工事損害に係る監督員の意見

8 評価

①適・否の評価（工事損害の原因の一部または全部が請負人に存する場合は否とする）

②請負人の費用負担割合（8-①が否の場合）

③意見欄（8-①、②関係）

総括監督員	主任監督員	担当監督員

令和 年 月 日

(担当課)

請負人（社名）
現場代理人氏名

復旧工事施工計画書

1. 工事名
2. 工事場所
3. 工事施工期間
4. 添付資料

- (1) 案内図
- (2) 被害家屋一覧図
- (3) 復旧工事仕様書
- (4) 復旧工事見積書
- (5) 家屋現況調査平面図
- (6) 写真説明表
- (7) 損害箇所記録写真
- (8) 委任状
(建設共同企業体の場合)
- (9) その他関係資料

施工関係図、地質想定図、地下水位測定及び
水質調査資料、その他

承 諾 書

住所 _____
請負人
氏 名 _____

横 浜 市 長 _____

私は、横浜市みどり環境局発注の工事によって発生した物件の損害については、次の金額をもってすべて解決することを承諾し、このことについては、貴社及び横浜市に対して今後一切異議の申し立てをいたしません。

- 1 所在地
- 2 損害物件
- 3 補償費

令 和 年 月 日

所有者(居住者)住所

氏 名 又 は 名 称

印

復旧工事施工承諾書

住所 _____
請負人 _____
氏名 _____

横浜市長 _____

私は、横浜市みどり環境局発注の工事によって発生した物件の損害については、請負人が復旧工事施工計画書により施工することをもってすべて解決することを承諾し、このことについては、貴社及び横浜市に対して今後一切異議の申し立てをいたしません。

1 所在地

2 損害物件

令和 年 月 日

所有者(居住者)住所

氏名又は名称

印

令和 第 号
年 月 日

協議結果書

(担当課)

請負人（社名）

現場代理人氏名

損害原因に関する施工状況の協議結果は次のとおりです。

協議結果	評価		補償金の負担割合	
	適	否	横浜市	請負人
工事名				
理由				
特記事項				

第三者損害に対する補償費負担割合等に関する確認書

横浜市と請負人_____とは、請負人が施工した_____に起因して発生した、_____区_____町_____他_____件の所有物件等の損害に対する補償については、次により補償を実施し、それぞれ負担することを協議し承諾したので、この確認のため、確認書2通を作成し、相互に記名押印のうえ各自1通を保有する。

1 協議事項

- (1) 全体額 円 (内消費税等相当額 円)
- (イ) 補償費総額
合計 件 円
- (ロ) 補償費負担額及び負担割合
横浜市負担額 円 (%)
請負人負担額 円 (%)
- (ハ) 補償事務費 (負担)
合計 件 円 (内消費税等相当額 円)

2 その他確認事項

- (1) 第三者損害に対する補償は、請負人が誠意をもってこれにあたり、迅速・適切に処理するものとする。
- (2) 請負人は補償費用総額の内横浜市負担分については、関係書類を添えて横浜市に請求するものとする。
- (3) この確認書について、定めのない事項及び変更すべき特段の事由のあるときは、別途協議するものとする。

令和 年 月 日

発注者 横浜市中区本町6丁目50番地の10

横浜市長 印

住所
請負人
氏名

印

復旧工事完了確認書

住所
請負人
氏名

横浜市長

私は、先に承諾した損害物件の復旧工事が完了したことを
確認いたしました。

- 所在地
- 損害物件
- 工事完了日 令和 年 月 日

令和 年 月 日

所有者(居住者)住所

氏名又は名称

印

令和 年 月 日

(担当課)

住所
請負人
氏名

損害補償実施届

次のとおり損害補償を実施いたしました。

1 対象工事内容

工事名	
工事場所	
契約金額	¥
工事施行期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

2 補償内容

対象物件	方法	復旧工事	代替物	金 銭	計	備 考
家 屋	件数					
	金額					
井 戸	件数					
	金額					
その他 <池・駐車場等>	件数					
	金額					
合 計	件数					
	金額					

<添付資料> 復旧工事仕様書・見積書、復旧工事完了確認書、承諾書、領収書